



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場会社名 株式会社さくらケーシーエス 上場取引所 東
コード番号 4761 URL <https://www.kcs.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 貴紀
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 南野 耕三 (TEL) 078-391-6571
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	4,962	5.9	64	—	137	176.0	92	188.4
2025年3月期第1四半期	4,685	△11.8	4	△97.9	49	△79.4	31	△81.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 221百万円(89.3%) 2025年3月期第1四半期 116百万円(△55.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第1四半期	円 銭 8.23	円 銭 —
2025年3月期第1四半期	2.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	24,341	19,863	81.6
2025年3月期	25,556	19,866	77.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 19,863百万円 2025年3月期 19,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	12.00	—	20.00	32.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,900	1.6	1,400	1.6	1,550	3.8	1,070	△6.6	95.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	11,200,000株	2025年3月期	11,200,000株
2026年3月期1Q	789株	2025年3月期	789株
2026年3月期1Q	11,199,211株	2025年3月期1Q	11,199,211株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料 2 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社及び連結子会社の当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、金融関連部門においてシステム構築が減少した一方で、産業関連部門においてシステム構築及びシステム機器販売が増加したことから、売上高は前年同四半期比276百万円（5.9%）増の4,962百万円となりました。

損益面につきましては、積極的な採用活動、教育研修の拡充及び給与のベースアップなどの人への投資を推進したことにより費用が増加した一方で、収益性の高い案件の獲得や品質管理の強化による不採算案件の抑制を前期から継続して取り組んだほか、増収効果もあったことから、営業利益は64百万円と前年同四半期比60百万円の増益、経常利益も137百万円と前年同四半期比87百万円（176.0%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益も92百万円と前年同四半期比60百万円（188.4%）の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、2025年4月1日付の組織変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より金融関連部門の一部を産業関連部門に集計するよう変更しており、対前年同四半期の増減及び増減率については、前年同四半期の数値を変更後の区分方法に組み替えた数値に基づいて作成しております。

① 金融関連部門

前年同四半期においてSMB Cグループ向けシステム構築案件の売上一時的に集中したことにより、売上高は1,465百万円と前年同四半期比186百万円（11.3%）の減収となり、セグメント利益も292百万円と前年同四半期比58百万円（16.6%）の減益となりました。

② 公共関連部門

自治体情報システムの標準化案件によりシステム構築が増加したことを主因として、売上高は1,237百万円と前年同四半期比73百万円（6.3%）の増収となり、セグメント利益も66百万円と前年同四半期比42百万円（177.2%）の増益となりました。

③ 産業関連部門

ERPソリューション案件によりシステム構築が増加したことに加え、システム機器販売も増加したことから、売上高は2,259百万円と前年同四半期比389百万円（20.9%）の増収となり、セグメント利益も433百万円と前年同四半期比132百万円（44.2%）の増益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末比1,214百万円減少して24,341百万円に、純資産は前連結会計年度末比2百万円減少して19,863百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比3.9%上昇して81.6%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日付の「2025年3月期決算短信」において発表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点での変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,703	4,085
売掛金及び契約資産	7,473	4,236
電子記録債権	24	15
有価証券	2,221	2,718
商品	116	280
仕掛品	26	133
貯蔵品	3	3
その他	675	690
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	14,244	12,164
固定資産		
有形固定資産	2,346	2,249
無形固定資産	456	437
投資その他の資産		
投資有価証券	6,344	7,347
退職給付に係る資産	1,654	1,662
その他	544	514
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	8,508	9,490
固定資産合計	11,312	12,177
資産合計	25,556	24,341
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,245	1,124
未払法人税等	708	63
賞与引当金	1,365	382
受注損失引当金	3	5
その他	1,415	1,904
流動負債合計	4,739	3,480
固定負債		
役員退職慰労引当金	107	90
退職給付に係る負債	74	76
その他	768	831
固定負債合計	950	997
負債合計	5,690	4,478

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	2,228	2,228
利益剰余金	14,280	14,148
自己株式	△0	△0
株主資本合計	18,563	18,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	976	1,110
退職給付に係る調整累計額	326	321
その他の包括利益累計額合計	1,302	1,431
純資産合計	19,866	19,863
負債純資産合計	25,556	24,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,685	4,962
売上原価	3,536	3,676
売上総利益	1,149	1,285
販売費及び一般管理費	1,145	1,220
営業利益	4	64
営業外収益		
受取利息	0	22
受取配当金	46	52
雑収入	2	4
営業外収益合計	49	79
営業外費用		
支払利息	3	7
雑損失	0	0
営業外費用合計	3	7
経常利益	49	137
特別損失		
固定資産除却損	-	6
特別損失合計	-	6
税金等調整前四半期純利益	49	130
法人税等	17	38
四半期純利益	31	92
親会社株主に帰属する四半期純利益	31	92

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	31	92
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	133
退職給付に係る調整額	△13	△4
その他の包括利益合計	84	129
四半期包括利益	116	221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116	221

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計		
財又はサービスの種類						
システム構築	1,402	592	972	2,967	—	2,967
システム運用管理	213	394	519	1,127	—	1,127
その他の情報サービス	29	134	157	322	—	322
システム機器販売	7	42	218	268	—	268
顧客との契約から生じる収益	1,652	1,163	1,869	4,685	—	4,685
財又はサービスの移転の時期						
一時点で移転される財又はサービス	13	43	229	286	—	286
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,638	1,120	1,640	4,398	—	4,398
顧客との契約から生じる収益	1,652	1,163	1,869	4,685	—	4,685
外部顧客への売上高	1,652	1,163	1,869	4,685	—	4,685
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	0	20	42	△42	—
計	1,674	1,164	1,890	4,728	△42	4,685
セグメント利益	350	24	300	675	△671	4

(注) 1 セグメント利益の調整額△671百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計		
財又はサービスの種類						
システム構築	1,259	652	1,168	3,079	—	3,079
システム運用管理	191	420	506	1,118	—	1,118
その他の情報サービス	13	111	161	286	—	286
システム機器販売	1	52	422	477	—	477
顧客との契約から生じる収益	1,465	1,237	2,259	4,962	—	4,962
財又はサービスの移転の時期						
一時点で移転される財又はサービス	1	53	426	481	—	481
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,464	1,184	1,832	4,480	—	4,480
顧客との契約から生じる収益	1,465	1,237	2,259	4,962	—	4,962
外部顧客への売上高	1,465	1,237	2,259	4,962	—	4,962
セグメント間の内部売上高又は振替高	38	3	23	64	△64	—
計	1,504	1,240	2,282	5,027	△64	4,962
セグメント利益	292	66	433	793	△728	64

(注) 1 セグメント利益の調整額△728百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2025年4月1日付の組織変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より金融関連部門の一部を産業関連部門に集計するよう変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	143百万円	162百万円